

『消費者のための保険法ガイドブック』

目次

第1章	保険制度の概要	1
1	保険制度の必要.....	1
2	保険契約の当事者・関係者.....	1
	(1) 保険契約者と保険者.....	1
	(2) 被保険者.....	2
	(3) 保険金受取人.....	3
3	保険に関する法則・原則.....	4
	(1) 大数の法則.....	4
	(2) 給付反対給付均等の原則.....	5
	(3) 収支相等の原則.....	5
4	保険の種類.....	6
	(1) 公保険と私保険.....	6
	(2) 保険法に基づく類型.....	6
	(3) 損害保険と定額保険.....	8
	(4) 物保険と人保険.....	9
	(5) 責任保険.....	9
	(6) 自動車保険.....	10
5	保険に関する規制.....	11
	(1) 広義の保険契約法.....	11
	(2) 保険法.....	11
	(3) 保険約款.....	12
	(4) 保険業法.....	13
6	保険訴訟.....	14
	(1) 請求原因.....	14

目次

(2) 保険者の免責をめぐる争い	15
------------------	----

第2章 保険契約の流れ

1 保険契約の募集から契約成立	16
(1) 保険契約の募集	16
(2) 保険契約の勧誘規制	19
(3) 保険契約の申込みとクーリング・オフ	20
(4) 告知義務	21
(5) 保険契約の承諾と成立	22
(6) 保険契約の締結時の書面交付	23
2 保険事故の発生時の対応	24
(1) 損害の発生および拡大の防止	24
(2) 損害発生・被保険者の死亡・給付事由発生の通知義務	25
(3) 保険法上の免責事由	25
3 損害保険における支払保険金	26
(1) 損害額の算定	26
(2) 一部保険	27
(3) 重複保険	29
(4) 保険代位	31

第3章 保険契約の基礎

1 契約総論	33
(1) 保険契約の定義・適用範囲	33
(2) 保険契約の当事者・関係者	33
(3) 保険料の支払い	35
(4) 責任遡及条項	36
2 保険給付の履行期	37
(1) 保険法制定前の状況	37

(2) 期限の定めがある場合	38
(3) 期限の定めがない場合	39
(4) 契約者側の調査妨害	39
3 消滅時効	40
(1) 保険給付請求権等の消滅時効期間	40
(2) 保険料請求権の消滅時効期間	40
(3) 性質、約款・合意による時効期間の変更	40
(4) 起算点	41
4 重大事由解除	43
(1) 重大事由解除の趣旨・性質	43
(2) 解除事由	43
(3) 重大事由解除には除斥期間の規定がない	46
(4) 因果関係不存在の特則はない	46
(5) 解除の効力	47
(6) 重大事由解除濫用の危険性	47
第4章 保険約款	48
1 保険約款の意義	48
2 定型約款による個別条項のみなし合意	49
3 定型約款の内容の開示	50
4 約款の解釈方法	50
(1) 条項使用者不利の原則	50
(2) 客観的解釈の原則	52
(3) 解釈による隠れた内容規制	52
5 約款の不当条項規制	54
(1) 保険法の片面的強行規定	54
(2) 保険約款の行政的規制	54
(3) 私法上の内容規制	55

目 次

6	給付記述条項に対する不当条項規制	58
7	個別合意による約款の修正	59
	(1) 保険契約者による約款の修正	59
	(2) 保険募集主体による約款の修正	60
8	定型約款の変更	61

第5章 保険募集における情報提供規制と私法上の説明義務・助言義務 62

1	保険募集における情報提供規制	62
	(1) 保険募集の意義と情報提供規制	62
	(2) 情報提供義務	63
	(3) 乗合代理店と情報提供義務	65
	(4) 保険会社の体制整備義務としての情報提供義務	67
	(5) 不実表示等の規制	67
	(6) 意向把握・確認義務	69
	(7) 高齢者に対する保険募集	72
2	私法上の説明義務と助言義務	74
	(1) 説明義務	74
	(2) 説明義務をめぐる裁判例	76
3	助言義務	80
	(1) 助言義務	80
	(2) 学 説	81
	(3) 顧客調査義務	82
4	損害賠償	82
	(1) 損害および因果関係	82
	(2) 因果関係	83
	(3) 慰謝料	83
	(4) 損害算定	84

(5) 過失相殺	84
(6) 保険業法283条の責任	85
(7) 金融サービス提供法	85
5 契約の取消し	86
(1) 消費者契約法に基づく取消権	86
(2) 錯誤	87
第6章 告知義務をめぐる諸問題	88
1 告知義務の意義	88
(1) 告知内容	88
(2) 法的性質と根拠	89
2 告知義務の内容	90
(1) 告知義務者	90
(2) 告知の受領権者	91
(3) 告知の方法	94
(4) 告知の時期	95
3 告知事項と義務違反	96
(1) 告知義務違反の要件	96
(2) 危険（発生の可能性）	96
(3) 重要な事実・事項	98
(4) 質問応答義務	101
(5) 被保険者の年齢	102
(6) 遺伝子診断と告知義務	104
(7) 他保険契約の締結状況の告知	105
(8) 告知義務者の故意・重過失	107
4 告知義務違反の効果	108
(1) 保険者の解除権	108
(2) 解除の効果	109

目次

(3) 告知義務違反と詐欺・錯誤	110
(4) 解除権の制限	111
(5) 因果関係不存在の特則	113
(6) 診査医の悪意・過失	117
5 解除権の除斥期間	119
(1) 除斥期間の趣旨	119
(2) 除斥期間内の意思表示	119
(3) 解除原因の認識	120
第7章 通知義務をめぐる諸問題	121
1 通知義務の意義	121
(1) 通知義務の主体・通知事由	121
(2) 通知の相手方、通知の方法等	122
(3) 通知義務違反の効果	122
(4) 約款による通知義務の強化・拡充	122
2 損害発生のお知らせ義務	123
3 損害防止義務	124
(1) 損害防止義務の意義	124
(2) 損害防止義務の主体・内容等	124
(3) 損害防止義務違反の効果	125
(4) 損害防止費用	125
4 危険の増加のお知らせ義務	125
(1) 危険の増加の意義	125
(2) 解除権の発生要件	126
5 危険の減少のお知らせ義務	127
(1) 危険の減少の意義	127
(2) 危険の著しい減少による保険料減額請求	128
6 他保険契約のお知らせ義務	128

(1) 他保険契約の通知義務	128
(2) 通知義務違反による解除	128
7 目的物の譲渡と通知義務	129
(1) 保険の目的物の譲渡の効果	129
(2) 旧商法下での判例	129
第8章 保険免責の基礎	132
1 免責事由とは	132
(1) 損害保険契約における法定免責事由	132
(2) 生命保険契約における法定免責事由	133
(3) 傷害疾病定額保険における法定免責事由	133
(4) 約款で法律と異なる免責事由を定めることができるか	133
(5) 約款による免責事由の例	133
2 損害保険における免責事由	138
(1) 損害保険における免責事由の類型	138
(2) 故意免責が認められる趣旨	139
(3) 未必の故意を含むか	140
(4) 故意の対象となる事実は何か	140
(5) 第三者の故意事故招致	141
(6) 免責事由としての重過失とは	143
3 生命保険における免責事由	144
(1) 被保険者の自殺	144
(2) 保険契約者による故殺	146
(3) 保険金受取人による故殺	146
第9章 自動車保険	149
1 自動車保険とは	149
2 自賠責保険	149

目次

(1) 自賠償保険制度のしくみ	149
(2) 自賠償保険契約の被保険者（保有者と運転者）	150
(3) 運行供用者責任	150
(4) 加害者請求と被害者請求	158
(5) 損害額の算定	158
(6) 仮渡金請求と差押禁止	159
(7) 免責事由	159
(8) 重過失減額と過失相殺	160
(9) 因果関係の有無の判断が困難な場合の減額	160
3 対人賠償責任保険	160
(1) 約款の用語（賠償責任条項1条）	160
(2) 上積保険	161
(3) 保険事故	161
(4) 自賠償保険との相違	162
(5) 被保険者の範囲	162
(6) 免責事由	163
(7) 直接請求権	163
(8) 被害者の先取特権	164
(9) 内払制度と一括払制度	164
4 搭乗者傷害保険	165
(1) 保険事故	165
(2) 被保険者の範囲	166
(3) 免責事由	167
(4) 搭乗者傷害保険金と損益相殺、慰謝料算定	167
5 人身傷害補償保険	168
(1) 発生要件	168
(2) 被保険者および保険金請求者の範囲	169
(3) 免責事由	170

(4) 補償内容	170
(5) 保険代位の範囲（人身傷害補償保険と損害賠償請求権の関係）	170
6 車両保険	173
7 特約条項	173
(1) 運転者本人・配偶者限定特約	173
(2) 運転者年齢21歳未満補償対象外特約、26歳未満補償対象外特約	174
(3) 他車運転危険担保特約	175
(4) 無保険車傷害危険担保特約条項	176
(5) 自損傷害特約	177
(6) 弁護士費用特約	178
8 車両保険における偶然性の立証責任	180
(1) 車両保険（盗難以外）	180
(2) 車両保険（盗難）	181
(3) 車両保険（いたずら事案に関する近時の議論）	185
第10章 火災保険	189
1 火災保険とは	189
2 保険事故	189
3 補償内容	190
(1) 損害保険金	191
(2) 持出家財保険金	191
(3) 水害保険金	191
(4) 費用保険金	191
4 火災保険における主張立証責任の所在	192
(1) 保険金請求訴訟における主張立証責任	192
(2) 火災発生の偶然性についての主張立証責任	192
5 偶然性の具体的主張立証責任の内容および方法	194
(1) 火災保険事故の特徴	194

目次

(2) 火災原因が放火であるか否かについての考慮要素	195
(3) 保険金請求者側の放火への関与を検討する際の考慮要素	196
6 下級審裁判例の考察	198
(1) 事例1——出火原因が争われた事例	198
(2) 事例2——出火原因と保険金請求者側による放火の関与が争われた事例	200
(3) 事例3——保険金請求者側による放火の関与が争われた事例	201
第11章 地震保険	204
1 地震保険の概要	204
(1) 地震保険の内容	204
(2) 保険の目的物・保険金額	205
(3) 保険料の設定	206
(4) 地震免責事項	208
(5) 政府の再保険と保険金の削減	209
2 関連する裁判例	210
(1) 説明義務と慰謝料請求権	210
(2) 地震の6日後の火災と共済金支払い	211
(3) 地震と延焼の解釈	211
第12章 責任保険	214
1 責任保険の特徴	214
(1) 責任保険契約の内容	214
(2) 責任保険契約の目的・機能	214
(3) 責任保険契約の種類	215
(4) 責任保険における保険事故の種類	215
2 被害者保護機能の充実措置	218
(1) 被害者の先取特権	218

(2) 被保険者による保険給付請求権の行使制限	219
3 保険給付請求権の処分等の禁止	220
4 保険契約者ないし被保険者の義務	220
(1) 告知義務	220
(2) 通知義務	220
(3) 事故発生時の義務	220
5 補償内容	221
(1) 補償される対象および範囲	221
(2) 支払われる保険金の種類	222
(3) 支払われる保険金の算定	222
6 免責事由	223
(1) 偶然性に乏しい事故	224
(2) 大規模損害の発生	224
(3) 一般の責任保険では免責	224
第13章 生命保険の基礎	225
1 生命保険契約の意義	225
(1) 定義・要素	225
(2) 生命保険契約の種類	227
2 生命保険契約における保険者の責任開始期	230
(1) 責任開始条項・責任遡及条項	230
(2) 責任開始に関する重要事項	231
3 生命保険契約における失効と復活	233
(1) 生命保険契約の失効	233
(2) 失効した生命保険契約の復活	234
4 他人の生命の保険契約	235
(1) 他人の生命の保険契約の規制趣旨	235
(2) 被保険者の同意の方式・確認	235

目次

(3) 被保険者の同意の時期	236
(4) 被保険者の同意の内容	236
(5) 被保険者の同意の相手方	237
(6) 団体定期生命保険契約における被保険者の同意	237
(7) 未成年者が被保険者の場合の同意のとり方	239
(8) 同意の撤回および被保険者による解除請求	240
第14章 生命保険等の保険金受取人	243
1 保険金受取人の地位	243
(1) 保険金受取人の意義	243
(2) 保険契約者との関係	244
(3) 保険金請求権と特別受益	245
2 保険金受取人の指定・変更	246
(1) 保険金受取人の指定・変更の自由と制限	246
(2) 保険金受取人の指定の有効性	248
3 保険金受取人の指定の解釈	250
4 配偶者を保険金受取人と指定	251
5 相続人間の保険金の配分	252
6 保険金受取人の変更	254
(1) 生前の意思表示による場合	255
(2) 被保険者の同意の要否	256
(3) 遺言による場合	257
(4) 保険金受取人の変更と遺留分侵害額請求	260
7 保険金受取人が死亡した場合	261
(1) 保険契約者の先死亡	262
(2) 保険金受取人の先死亡	262
(3) 保険金受取人と保険契約者の同時死亡	263
8 介入権	264

(1) 介入権の意義	264
(2) 介入権の手続	265

第15章 傷害保険金をめぐる請求……………267

1 傷害保険の種類と保険事故	267
2 各要件	268
(1) 急激性	268
(2) 偶然性	269
(3) 外来性	274
(4) 因果関係	281
3 免責事由	283
(1) 保険法の定める免責事由	283
(2) 疾病免責に関して	283

第16章 疾病保険と契約前発病不担保条項……………285

1 疾病保険	285
(1) 意義と分類	285
(2) 給付事由	286
(3) 医療保険契約の給付事由・給付金	287
(4) がん保険の給付事由・給付金	287
2 契約前発病不担保条項	288
(1) 意義	288
(2) 契約前発病不担保条項の目的・機能	291
(3) 告知義務の適法な履行と不担保の可能性	291
(4) 保険契約者の保護	292
(5) 契約前発病不担保条項の関連事項	294
(6) 契約前発病不担保特約に関する裁判例	295

第17章	外貨建て保険・変額保険の販売規制	297
1	外貨建て保険のしくみと規制概要	297
2	外貨建て保険の商品概要	298
	(1) 外貨建て保険の商品概要	298
	(2) 外貨建て保険をめぐる苦情等	300
	(3) 外貨建保険販売資格試験	302
3	外貨建て保険のリスクおよびコスト	303
	(1) 為替リスク	303
	(2) 各種の手数料・費用負担	304
	(3) 中途解約時の減額要因	307
	(4) 積立利率に対する金融庁の指摘	309
	(5) 外債等への直接的な投資との比較	310
	(6) クーリング・オフに係る課題	310
	(7) 変額保険型におけるリスク	311
4	外貨建て保険の勧誘規制	312
	(1) 特定保険契約に対する規制	312
	(2) 適合性の原則	313
	(3) 意向把握義務	316
	(4) 断定的判断の提供の禁止	319
	(5) 広告等の規制	320
5	外貨建て保険の説明義務・情報提供義務	322
	(1) 説明義務	322
	(2) 説明義務が求められる根拠	326
	(3) 外貨建て保険に関する説明類型	328
	(4) 情報提供義務	329
6	外貨建て保険をめぐる裁判例	332
	(1) 適合性の原則違反が認められた裁判例	332

(2) 説明義務違反に関する裁判例	333
7 変額保険販売に関する規制	335
(1) 変額保険等の特徴	335
(2) 変額保険等の販売をめぐる訴訟の争点	337
(3) 変額保険等の勧誘規制	337
(4) 損害賠償額の算定	339
(5) 外貨建て保険をめぐる裁判例	340
・ 事項索引	342
・ 判例索引	346
・ 編著者・執筆者一覧	354